



2020
8月

園だより

認定こども園 下関短期大学付属第二幼稚園
山口県下関市彦島塩浜町2丁目2-21 ☎ 083(266)5821



みんなたいへんよくがんばりました

本来であればいよいよ東京オリンピック・パラリンピック開幕、今頃は日本中が大いに沸いているはずでした。すべてを変えてしまった新型コロナ。さらにこの度の「令和2年7月豪雨」。今年の夏は様々な被害に怯えながらもその対策に挑戦し続ける夏になるのでしょうか。

さて、4月から帰りの通園バスにはほぼ毎日私が乗っています。今年度は23名の子どもたちがバスを利用しています。そして、多くの子と最近盛り上がっているのがじゃんけん大会。

一口にじゃんけんと言っても、幼い子どもにとっては高度なスキルが求められているのです。

まず掛け声の合図に合わせ、3つの形の中から1つを瞬時に決め指で作る。迷って変な形になることもあるくらい難しいのです。次に掛け声に合わせて、みんなと同時に手を振り下ろす。大人には何でもないことでも、子どもにとっては大変レベルの高い運動です。得てして「後出し」と言われてしまうような子は、実はタイミングと筋肉の調整がうまくできていないのが原因です。そして3つ目がルール。じゃんけんの勝敗が理解できるようになるのは4~5歳からと言われていますが、うめ組の子もチョコキをぎこちなく作ったりして一緒に加わっています。中には雰囲気だけを楽しんでいる子もいるのは当然のことながら、多くの子がルールを理解していることが分かります。なぜかという、実は、1番最初のじゃんけんでは私は決まってパーを出しています。子どもたちはすでにそれを分かっているチョコキを出し大歓声。私が「よし。今度はチョコキに勝つぞ」と言って次の勝負。ほとんどの子がパーを出して再び歓喜のおたけび。理解している証拠です。

このように毎日賑やかに彦島を周回していた通園バスも、しばらくお休みとなります。

もうすぐ1学期が終わり夏休み。1学期は感染対策を最優先したため、参観日を1度も開催できず、保護者の皆様も大変気になっておられたことでしょうか、園ではみんなとても楽しく過ごしていました。また、友達との活動を通して、多くの刺激を受け、心も豊かになってきました。本当にみんなよくがんばりました。各組の1学期を振り返ってみましょう。

6月から3名が入園したつぼみ0歳児組。最初はみんな落ち着かない様子で、毎日泣き声の合唱でしたが、今ではすっかり慣れ、食欲も旺盛。ぐっすりお昼寝もするようになりました。

6月から女の子1名が加わり5人となったつぼみ1歳児組。トイレに誘ってそこでおしっこをするように声を掛け続けることより、トイレで成功する子が増えてきました。

1名の新入児を迎えて7名のたんぽぽ組。6月から保育士2名で指導しています。友達を意識するようになり、名前を呼び合っただけでもかかわりをもつ様子が見られるようになりました。

11名の新入児に加え、7月にも新たに1名入園して18名となったうめ組。衣服の着脱をどうにか自分でやってみようとがんばり、一人でできるようになった子が増えています。

28名のもも組。集団遊びを多く取り入れることにより、勝負に負けた時でも泣く子がいなくなり、ルールを少し複雑にしても、正しく理解し守ることができるようになりました。

30名のさくら組。カメのお世話をしたり、毎朝各部屋にお茶を配ったり、誕生会では進行役を務めたりして、年長さんとしての自覚がどんどん芽生えてきています。

コロナの渦中にあっても、みんなが元気に過ごせたことを何よりも安堵しています。バスの中でのじゃんけんは2学期までお預けです。もも組の女の子に、「じゃんけん強いね」と誉めたところ、「うん。だって毎日おうちで練習してるもん」。たいへんよくがんばりました。(園長 寺本 明生)